

夢見るホッケー教室



Presented by  **ENEOS**



夢見るホッケー教室 山形県川西町 実績報告書

- 趣 旨** 全国のホッケー未経験者やホッケー経験者に対して、ホッケー競技の普及と競技力向上のため、ホッケーオリンピックや元日本代表選手より、ホッケーの楽しさを伝えると共に、世界へ羽ばたく選手の育成につなげる。
- 主 催** 公益社団法人日本ホッケー協会
- 共 催** 山形県ホッケー協会、川西町ホッケー協会
- 後 援** 川西町、川西町教育委員会
- 協 賛** 有限会社きれい社、株式会社 Do it プランニング山形支社米沢オフィス、株式会社米沢食肉公社
- 開 催 日** 令和7年10月18日（土）
 - 9:00～12:00
中学生（経験者/未経験者・初心者）、保護者の参加も可 32名令和7年10月19日（日）
 - 10:00～12:30
小学生（経験者/未経験者・初心者）、保護者の参加も可 51名
- 開催場所** 川西町総合運動公園人工芝ホッケー場
- 講 師** 北里 謙治（東京2020オリンピック代表/ALDER 飯能）
加藤 凌聖（元日本代表/LIEBE 栃木）
森田 陽介（元日本代表/LIEBE 栃木）
新井 麻月（元日本代表）

○教室内容

10月18日(土)

9:00~12:00 中学生(経験者)

9:00 開会式

9:10 w-up

9:30 ホッケースキルセッション

○ボールコントロール(2タッチ)からシュート

- ・パスを受けてから、なるべく少ないタッチ数でシュートを打つために
レシーブ(ファーストタッチ)でボールをシュートが打てる位置に運ぶ

○ドリブルスキル

→右抜き、ターニング、リフト(3Dドリブル)

- ・右抜きは幅を広くするように意識する
- ・ターニングはDFとの間合いを考える、どのような時に使うといいかを指導
- ・リフトは人に向かって行くよりスペースへ向かう

<GK>

○キック(1対1の対面でお互いの間隔に変化をつける(短・中・長))

- ・強く正確に蹴れるように、ボールの位置、足の角度、当てる位置を意識する
- ・蹴った後すぐに構え直す

○スティックパス(フォア、リバース)

- ・ボールの位置、スティックの当て所を意識する
- ・強さよりも正確さを重視

○シュートボール セービング(様々な角度から)

- ・構えをしっかりする ポジショニングを意識する

10:20 スペシャルスキル(リバースヒット/フリック)

11:00 ゲーム

11:50 じゃんけん大会、写真撮影

12:00 終了

10月19日(日)

10:00~12:30 小学生(経験者/未経験者・初心者)、保護者の参加も可

<未経験者・初心者>

10:00 開会式

10:10 w-up

10:20 ホッケーのルール

スティックの持ち方

10:30 区切った中で当たらないようにボールをコントロールにチャレンジ

10:40 ドリブル体験

そのまま進んでUターン

S字

左右ドラック

11:10 2人1組でパス

プッシュ

ダイレクト

ペアで何回連続できるかチャレンジ

11:35 2人パスシュート

11:50 ゲーム

12:20 じゃんけん大会

12:30 終了

<経験者>

10:00 開会式

10:10 w-up

10:20 スキルセッション

○パス&ランからシュート

- ・パスを出したら走ってリターンパスをもらう。
- ・パスを出す方も、走ってる人にしっかり合わせる。

○ドリブルスキル

→スラロームドリブル、右抜き

- ・スラロームは常にフォアでボールコントロールを意識
- ・右抜きは幅を広くするよう意識する

○左手グローブでリフティング

- ・グローブの当て所を意識する ボールコントロールを重視する

○キック(1対1の対面でお互いの間隔は短め)

- ・正確に蹴れるように、ボールの位置、足の角度、当てる位置を意識する

○シュートボール セービング(様々な角度から)

- ・構えをしっかりする ポジショニングを意識する

11:10 ゲーム

11:50 エキシビジョンゲーム

12:20 じゃんけん大会、写真撮影

12:30 終了

○感想

小形悠介(山形県ホッケー協会)

1992年に開催された「べにばな国体」でホッケー競技の会場となったことをきっかけに、川西町では「ホッケーのまち」を提唱し、各世代がホッケーを楽しめる環境が整備されてきました。2023年には、公式ホッケータウンに認定され、競技の普及に向けてより気運が高まりました。また、隣の米沢市と高畠町にもチームがあり、県内3市町を中心にホッケーの振興に取り組んでまいりました。

夢見るホッケー教室は、今回本県で初開催となり、関係者一同開催を心待ちにしておりました。私自身今回本県側の主担当者として参加させていただきました。本県で初開催であること、関係者の教室に対する期待が大きかったことがプレッシャーに感じておりましたが、山下彰子様をはじめ公益社団法人日本ホッケー協会のみなさまのサポートにより、無事開催を迎えることができました。日本ホッケー協会のみなさまには、こちらの問合せや要望にも柔軟に対応いただき、感謝しています。

待ちに待った開催日、日本ホッケー協会の中村真理様をはじめ、講師の新井麻月様、北里謙治様、加藤凌聖様、森

田陽介様の5名に来県いただきました。トッププレーヤーから教わるという貴重な経験は、子どもたちにとって充実した時間になりました。ホッケー未経験者の子どもたちにも多数参加いただき、ホッケーは「楽しいスポーツ」ということを認識いただいたと思います。印象的だったのは教室初日終了後のこと、1人の中学生が講師のみなさんに1対1を申し入れ、お疲れの中でしたが、快く受けていただき、みなさんが楽しそうにプレーしていたことです。みなさんの細やかな対応にも本当に感謝しています。

本協会は、普及に取り組む専門部を設置し、ホッケーの普及活動に力を入れてきました。今後も日本ホッケー協会様をはじめ関係機関のみなさまと連携し、全国にホッケーファミリーが増えるよう努めてまいります。今後ともよろしくお祈りします。

最後に、教室開催に向けて尽力いただいた関係者のみなさま、ありがとうございました。

北里 謙治（東京 2020 オリンピック代表/ALDER 飯能）

2日間大変お世話になりました。山形県のホッケー熱を感じ、自分自身も刺激を貰い、とても充実した時間になりました。また、子供たちのホッケーを学ぶ姿勢、向上心に感動しました。一緒にホッケーができてとても楽しかったです。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

加藤 凌聖（元日本代表/LIEBE 栃木）

まず初めに、ホッケー教室を通して講師と言う立場でしたが、純粋に楽しむことができました。

このような機会をいただきありがとうございました。

ホッケー教室では、私が小学生、中学生の時とは比べ物にならないくらい積極性があり、またよく考えてホッケーをしているのだと知ることができました。積極的にプレーしてくれたり質問してくれたり講師からするととても教えやすい環境でした。

またこのような機会があれば参加したいと思える、ホッケー教室でした。

森田 陽介（元日本代表/LIEBE 栃木）

今回夢見るホッケー教室に講師として参加することが決まった時、楽しみだった反面、参加してくれる選手たちにしっかりと指導できるのか、満足して帰ってもらえるのかななどの不安もありました。ですが当日になると、選手たちのキラキラした眼差し、前向きな姿勢に刺激され、この子たちの為に全力で楽しみながら指導をすることだけを考えていました。小・中学生を指導して、終始ぎこちない部分もあったと思いますが、選手たちの笑顔と元気良さに助けられて充実した時間を過ごすことができました。自分が伝えたいことを一生懸命理解しようと考え、頷きながら説明を聞いている姿に、この子たちはもっともっと上手くなって将来日本ホッケー界を背負って選手になっていくなと強く感じました。

日本ホッケー協会を背負って参加することにプレッシャーを感じていましたが、終わった後のこの満足感は他に無いものであり、心の底から参加して良かったと思っています。

また、地元ホッケー協会の方々にはとても温かくおもてなしして頂き、大変お世話になりました。

山形県ホッケー協会の皆様、本当にありがとうございました。

新井 麻月（元日本代表）

2日間フルで実施し私は未経験者を中心に講師を担い全体の進行やサポートをさせて頂き、山形県のホッケー経験者から未経験者の多くの子どもたちと交流が図れとても楽しく有意義な時間を過ごさせて頂きました！山形県ホッケー協会さんをはじめ、関係者の皆さまの手厚い暖かなサポートを頂きましたおかげで無事に実施し終了することができました。誠にありがとうございました。

今回のイベントが皆さまの活動にとって良いものとなり、少しでも参加者のみなさんが得るものがあり先に繋がるものになることを願っております！

○教室風景





